



ふきのとう便り

～一人はみんなのために みんなは一人のために～

2011年1月1日発行 NO.6

社会福祉法人 ふきのとう TEL 0743-67-1099

天理市柳本町 2036 番地 1 HP <http://www.fukinotou.or.jp>

編集責任者 植田 豊 e-mail fukinotou1099@ronpo.ocn.ne.jp

新年に思う『1つ目の世界 ケアホーム』

ケアホームシリーズ②

松田 百合子



I せんが書いた顔絵

2011年の新年に「新年あけましておめでとうございます」という祝詞を述べられることを、うれしく思っています。

昨年、何が原因なのかははっきりはしないのですが『脳梗塞』という病気を発症し、1月2月と入院生活を送りました。なかなか好転せず 2 カ月近く病院にあり、「リハビリが始まったばかりで入院がもっと延びるところ」を強引に『退院』させてもらいました。

このような出来事がありましたので、施設の方は新体制への組織化を図り、徐々に定着してきたところ です。

さて2010年の新年号で『ケアホーム』について少し書かせていただきましたが、その続きを書けということで、またまた原稿を頼まれてしまいました。

ある人が「障害者にとって大切なこと」として「3つの世界」を「豊かに保障」することと述べられている文章があります。その基盤に「所得保障」があることが前提ですが、1つ目として住居の保障と日常生活を豊かに暮らすためのあらゆるサポート 2つ目として日中の社会参加活動を保障する場(仕事) 3つ目として地域での生涯学習 この「3つの世界」を示されています。私達健常者(?)とされている者にとっても「ふつう」に大切な「3つの世界」ですが、取り立てて「問題提起」されるのは「障害者にとって」「ふつうに」「保障」されていない現実があるからに他ありません。

『ケアホーム』はこの1つ目の世界を保障する役目を背負った「なくてはならない」もの(社会資源)だと思ってい

ます。



私達が1997年現在のケアホームの前身であるグループホームを開設した時、私はこんな文をあるところに載せています。『ところが私達の奈良県では、制度前には皆無、制度後も入所施設運営の7か所のみです。全国的にこんなに広がってきている制度が奈良県ではどうして広がっていないのか?私達がここにグループホームを開設したのは、本人たちの将来を案ずるに止むに止むまれない気持ちとともに、澁んだ古い体質に風穴を開け、新風を吹き込みたいからです。困難は山ほどありましたし、今も日々戦っています。先鞭をつける気概で始めたグループホーム「桜草」に、暖かいご声援をお願いします。』又「奈良新聞」にも「県内初の市民運営」と記事にしてくださいました。当時「地域の作業所」へ通所する人たちの「居住」の場としての「グループホーム」は全くなく、私達の開いた「桜草」が県下第1号でした。

(2010年現在入所施設運営も含め55を数えています)

さて、私達が定員4名から始めたグループホームは、2009年「ケアホームふきのとう」と名前を変え定員13名になっています。9名の入所希望者を受け入れてきたこととなります。「入所施設から地域」へ「親からの自立」といったスローガンに照らした時、この人数は多いのか?少ないのか?「所得保障」が全く不十分な中「ケアホーム」の選択は非常に厳しいものがあります。「親のしがらみがなく、本人が希望すれば誰でも入れるケアホーム」「お金の不自由がなく入れるケアホーム」が実現すれば、ケアホームはますます増えていこうと思われま す。その時が「1つ目の世界」が「豊かに保障」される第1歩でしょう。まだまだ道は険しく長いと思われま すが、「本人たちの将来」を見据えて、進んで行きたいものです。

もし機会があり、体調が良ければ「グループホーム・ケアホームの歴史」や「グループホーム・ケアホームの夢と阻むもの」といったテーマでも書いてみたいと思っ ています。



ケアホーム建設予定地(開発申請の工程のひとつ)

社会見学 《飛鳥》

たくさん歩きました!!

井上 敬介



連日の猛暑もようやくおさまり、朝夕の秋風が心地よくなってきた9月の最終日に、毎年恒例の社会見学が行われました。今回の舞台は、歴史ロマン漂う古代の都 《飛鳥》となり、メンバーさんの中にはスタッフに「あと何日!」と毎日確認する方や、休憩時間に飛鳥の話で盛り上がっている方々もおられ、最近は何だか行けない遠出を心待ちにしている様子が随所に感じられました。しかし、当日は朝からの小雨模様!開催が心配されましたが、「現地は晴れているだろう!」といういまち根拠のない話のまま出発となりました。私は今回初めて参加することになり、メンバー2名と私の3名(すべて男性)の班となり、ルートも事前に決めていたのですが、1人のメンバーさんが事情で遅れてくることになり、出発では、もう1人の方は女性ばかりの班が気になるようだったので結果、女性班と合同で歩くことになりました。出発地点の甘樫の丘でスタンプラリーの用紙が置いてあったので、まずは甘樫の丘を歩くことにしました。少し肌寒かったが、空模様も傘がいるかいらぬかといった感じで歩きやすく、途中「この木なんの木?」と木にかかっている何の木か当てるクイズを解きながらスタンプを押していきました。ようやくスタンプも完成し、展望台では絶景(かなり霞んでいたが..)を見て、一同感動した様子でした。そこから昼食場所へ行き、昼食となりました。外で食べるお弁当は美味しいと話す方や、普段の食事中よりは表情が豊かなメンバーさんが見られたのが印象的でした。

午後からは、「またスタンプやりたい?」と聞くと全員「やりたい」ということなので、今度は高松塚周辺のスタンプラリーをしました。スタンプを完成することで何らかの達成感があったのか、それとも昼食を食べて元気一杯になったのかペースの落ちる方はあまりでませんでした。

スタンプを終えて時間もあまり、「次どこに行こう?」と

話しているとある女性スタッフが「入鹿の首塚が見たい!」と希望し、集合地点の方角だったのでそこに向かいました。しかし、事前のリサーチ不足で時間内に行けないことが分かり、「首塚はまたのお楽しみにしよう」ということになり、集合地点へ向かいました。

イベントを終えて、普段あまり歩くことのないメンバーさんでも4時間強歩いたのに1人も怪我なくギブアップすることなく全員完歩できたことに驚かされました。(スタッフの方が早く疲れてしまいました..)

部門紹介「販売」

おいしかったよ!笑顔の瞬間

前田 亨

自主生産部門は、「織物」、「味噌」、「焼菓子」、「食材調達」、「販売」の5部門に分けられます。その中で、「販売」部門を担当させていただいております。

ご縁あって、ここ「ふきのとう」で働かせていただいておりますが、初めは分からないことだらけで、戸惑いばかりの日々を送っていました。そんな中で、「自主生産」と「販売」の2部門で「責任者」という役割をいただくことになりました。

当初は売上も上がらず、お客様に商品のことを聞かれても、満足に説明が出来ないなどの

不具合が生じていました。このままではいけないと思い、他部門においても、只今勉強している最中でありませ

販売先は、「二階堂養護学校(第2、4水曜日)」「奈良養護学校(第3水曜日)」「柳本小学校(第2木曜日)」などの学校関係と、「朝市(毎週水、木曜日)」「コープ(毎週金曜日)」といった多方面に亘っています。その他にも季節行事として「夏祭り」や「ふれあい

交流会」等

にも出店して、販売を行っています。

売上は、最近上向き傾向にあります。焼菓子を始め、

「織物」「味噌」「畑で採れた野菜」なども順調に伸ばして



きています。又「場所別」においても、「コープ」を筆頭に他の場所でも着実に売上を獲得しています。

23年は、今まで以上に他部門と協力し、販売に臨んでいきたいと考えています。「ふきのとう」の商品は、本当に良質なものであります。このことをユーザーに伝えていく事は、「販売者」の責任であると考えています。

「この前ここで買った品物、おいしかったよ」とお客様から言ってもらえることは、生産者・販売者・消費者の三者が同時に笑顔になる瞬間でもあります。



奈良県庁屋上の清掃



残暑厳しい9月22日、県庁屋上の花壇、芝生の清掃をしました。清掃の合間に見る屋上からの景色は、春日山、東大寺、興福寺、天理・飛鳥方面と新鮮でした。「また行きたい」というメンバーさんの言葉がスタッフの励みになっています。これからも外での仕事が増えればいいですね！

こんなことしています！

こんなに
楽しいよ
(9/30
社会見学)



さつまいもこんなに収穫したよ！
みんなで食べたい、販売したい、頑張るぞ！
(ふきのとうの畑にて10/14)



今年のさつまいもの出来は
どうか？
緊張の一瞬です



恒例のいざなぎ神社のお祭り
皆さん今年の収穫は何ですか？
(10/15)



柿が！
たくさんたべ
ました
(11/23)

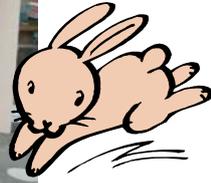


体操かな？
たませんのポ
ーズかな？
ふれあい交流
会(10/10)





うさぎ年の抱負・・・ふきのとうのスタッフ



『木』・・・乾

どんなことにも動じない大木のような
自分に成長し、ふきのとうのため、みんなのために1年
間頑張りたいです。

『挑』・・・福本

みんなと一緒に色々な事に挑戦していきます！

『和』・・・前田

人間関係の良好な企業は、業績が伸びていると言われ
ています。従業員が全員一つの和になって、同じ目的に
向かって日々活動していれば、自ずと結果は付いてく
ると考えています。

『楽』・・・井上

今年の抱負は楽です。これは決してラクをしたいのでは
なく、苦手な仕事でも楽しみながら取り組むことによっ
て、結果的に好きな仕事に変えていきたいという思い
からです。

『光』・・・紀埜

自己満足でもいいのですが、いつまでも光のように真
っすぐ光る生き方を目指したいと思っています。

『試』・・・関口

今年は、自分自身を試し、試される年。

『耀』・・・城内

ふきのとうにお世話になりはや1年。慌ただしく過ぎて
いく時間の中で、仕事にも少しずつ慣れ、楽し
く過ごす毎日。そんな日々の中で、昨年以上に今年は
自分自身を磨き、輝ける年にしたいです。

『器』・・・榮

今まで自分の器が小さかったので、今年はどんな時もどん
なことがあっても、大きい器で受けたいと思っています。

『熟』・・・松崎

昨年は浅く広く、とにかく頭で思い描いたものを形に
することに専念し、行動が先走り反省する点多かった
ので、今年はじっくりとよく考え、物事を成し遂げられる
よう熟者と成熟を心がけがんばりたいと思います。



『心』・・・光行

自己修行の目標においている。誠心誠意人に接す。真
心で接すれば必ず通ずる。自己研鑽につながる。日常
生活が明るくなる。

『輝』・・・窪田

自分を含めて輝ける一年にしたい。

『実』・・・植田

ふきのとう近隣にケアホーム建築を計画し、現在準備
を進めています。本年は、それを実現する年です。また、
組織変更、人事考課制度、伝票制度を昨年より実施し
ていますが、より高いレベルで実践し、組織が機能する
年としたい。

『真』・・・西岡

- ・真心・・・心を持って接していく気持ち。
- ・真実・・・うそいつわりがない。
- ・真義・・・本当のわけ。
- ・真偽・・・まことといつわり。

『善』・・・波多野

一日一回の善をする。

『豊』・・・西埜

何事にも心豊に心身共に明るくいいきと頑張りた
い。

『元』・・・大石

元旦に省り、喜び、幸せ、感謝の心を持って元気一杯頂
いてつとめる。

『絆』・・・寺岡

今、家庭、地域、学校、いろいろな所で絆が失っています。
どんな時でも、一番大事なものは、愛のある絆ではない
でしょうか。

『明』・・・福島

明るい面に心の焦点を合わせよう。

『食』・・・奥居

一番の楽しみは、やはり食べることだと思います。
食事に携わる者として、来年の抱負はおいしい物を心
をこめて作っていききたい。

『笑』・・・片平

いつも笑顔で

『弾』・・・中井

大きな夢はないけれど、ピョンピョン心弾ませ、気負わ
ず晴れ晴れ、いっぱいワクワク、ドキドキを見つけな
がら、若々しくいきたい。

(順不動)

